
貴方の隣り

ササ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】
貴方の隣り

【Nコード】
N2339A

【作者名】
ササ

【あらすじ】
隣りの席の貴方は、旅立ってしまった…。

貴方が、遠くへ行ってしまう前に、後悔などしないように、私の想いを伝えよう。

貴方は今日も寝ている。

窓側の後ろから二番目の席。

窓が少し開いていて、茶色い髪が風になびく。
気持ちよそうに、子供のような顔で寝ている。

そんな貴方を見るのが、今一番の楽しみ。
でも、貴方は知らないだろう。

「おはよう。」

貴方が起きる。

その顔はとても優しく、私まで優しくなれる。

こんな時がいつまでも続けば…

そんな願いも叶わぬまま『別れ』が来る。

空港へ向かう足が、重くなる。

いつその事帰ってしまおうか…

そんな事を思っていると『別れの場所』へと着いてしまった。

憂鬱な気分で貴方を探す。

見つからなければ良いのに…なんて思いながらも、貴方を探してる。

「…祐希!!」

振返ると、そこには笑って手を振る貴方がいる。
泣きそうになる気持ちを抑え、
私は貴方に言うの。

「淳平ーっ　大スキだよ…大スキッ!!　元気でね…」

「僕も、祐希が大スキだよ。」

貴方はいつものように優しく笑っている。
意外な答えだった。
本気かはわからない。
優しい貴方だから…。

抑えていた涙が、私の目からこぼれる。

そして…

貴方は旅立つ。

今日も私は、貴方のいない教室から、貴方と同じ空を眺めている…。
少し窓が開いていて、風が入って来る。
でもそこに貴方の姿はない…。

（後書き）

初めてなんで、駄文になってます…。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2339a/>

貴方の隣り

2011年1月25日23時50分発行